

研究)は、法整備の遅れでシステムが

構築されていません。それ故、家庭復帰後に虐待が再発、死亡に至る例もあります。また、長期分離による親子関係の断絶や親の無力感といった、二次被害も起こっています。

虐待する状況を変えるには、親自らが封じ込めてきた気持ちに触れ、自分は問題を解決する力を持っていることに気づくキッカケが必要です。

資金調達も含め、早期に検討すべきです。

(3) 学校給食の完全米飯給食を目指す計画は

Q 全校に炊飯器が設置されれば、国の指導もあり、完全米飯給食を目指すのは当然

A 米飯給食回数増加支援拡充を国に要望した。食育推進計画の審議を踏まえ検討したい

Q 委託炊飯加工賃1食あたり27円削減分を一般財源に入れている市もあると聞く

A 聞いているが、設備費は設置者負担で

◇ 新年よりモデル校7小中で、3段式ガス釜による自校炊飯が始まります。

第二次大戦後、政策的に採用されたパン給食。76年の米飯給食導入も余剰米の消費が目的でした。昨年4月に「学



末広小学校の
デモ機での炊飯

校給食法」が改正され、やっと「学校給食は、食の教育である」と位置づけられました。同時に、文科省は一層の「地場産食材活用、米飯給食」を推進します。

このような動きの中で、自校炊飯を目指すことは当然の流れ。全校に炊飯器が設置されれば、市が完全米飯給食を目指すのは当然です。

食文化は本来、家庭が伝えていくものですが、宝塚ではどんなに厳しい家庭環境の子でも、給食の時間には学校に来ます。だからこそ、9年間の学校給食を最高にして欲しいと願っているのです。



■どのような自死遺族支援をしているか

Q 具体的な市の取り組みは

A 関係10課で自殺予防対策庁内連絡会議を設置。市のHPでは自死遺族対象の自助グループのHPを紹介。県は遺族支援団体に助成し、研修会やシンポジウム開催支援を計画

Q 市や県の健康福祉事務所で自死遺族相談はできるのか

A 窓口はない

Q 学校での事後対応は

A 臨床心理士・スクールカウンセラーが教職員に対し、子どもや保護者のストレス反応への対処方法や説明の仕方を研修。その後の専門的見立てと情報提供で支援

◇ 「自死は個人の選択であり、遺された人もその痛みは個人で対処すべき」と、日本社会では長い間考えられてきました。しかし、自殺対策基本法18条には遺族支援が盛り込まれ、社会が担うべき課題と位置づけられました。さらに、自殺総合対策大綱には「遺された人の苦痛を和らげる」ことが明記されています。

一人の自死または自死未遂は、その周囲の5〜6人以上に心理的影響を与えているといわれています。市でも自

傷による救急車の出勤が年間110件以上あるので、年間6〜7百人に影響を与えているはずだ。

NPO法人ライフリンクの推計では、現在日本におられる自死遺族の総数は3百万人前後。同じく聴き取り調査では、うち4人に1人が「死にたい」と答え、ご遺族もまた生命の危機と隣り合わせで生きているのです。

そんな状況だから、行政こそが、出来ることをすべきです。長崎県では、長崎県自殺対策専門委員会の相談支援用手引き「自死遺族への相談支援の方法」が在ります。宝塚市も早急に検討すべきです。

日本社会では宗教的な背景もあり、自死は中途の挫折・敗北の結果と考えられて来ました。しかし、彼らは死ぬほど苦しみ、改善に向け懸命に努力し、闘い続け、周囲の人を思い遣って、死を選んだかも知れないのです。

亡くなった方の尊厳を奪うことなく、ご遺族にとつて「実際の問題」を乗り越える時に、最も頼りになる「宝塚市」である事を願っています。



寄贈された松本邸にあった、小さな揺り椅子

2 主な議案・請願・陳情・

意見書・決議の審議

・近石武夫議員に対する再度の議員辞職勧告決議

：6月議会の決議に対し、本人は道交法違反（無免許運転）容疑で逮捕・拘留されるも捜査中を理由に辞職しなかったが、9月には検察庁に書類送検されたため、再度の決議となった。議員報酬支給は続いている

・議員提出議案 特別委員会の設置について↓可決

：政務調査費の支出に関する調査
平成22年度宝塚市一般会計補正予算↓可決
[反]伊福・小山・坂下・近石・山本

：住宅用火災報知器を高齢者非課税世帯に設置・民間老福施設にスプリンクラー設置補助・（仮）ケアホーム中山整備補助・子宮頸がん予防ワクチン接種助成・（仮）小林1丁目



御殿山中学校屋上の太陽光発電パネル

公園整備・JR中山寺北地区整備・自校炊飯試行7校に炊飯器設置等を増額、小中学校施設耐震化事業等を減額

・宝塚市立看護専門学校条例の一部を改正する条例の制定について↓可決

[反]共産
：授業料月額2万円を3万円に改定、再試験1回につき千円徴収。受益者負担の適正化を図る

・宝塚市総合計画の基本構想を定めることについて↓継続審査

：6月議会で議員提案し設置した総合計画特別委員会に付託
宝塚市教育委員会の委員任命につき同意を求めることについて↓同意 [退]

小山・寺本

：教育委員会委員の広瀬裕二氏の任期満了に伴い、井上輝久氏を任命
国に現行保育制度堅持・拡充を求める意見書提出を求める請願↓採択

（文教委員会では継続藤岡・山本[反]藤岡）本会議では[反]山本・公明・浜崎

：ナショナルミニマムである保育所最低基準の廃止で保育の質を低下させない旨の意見書提出を求めるもの。意見書提出成らず！！

・兵庫県教育委員会に対し「宝塚学区を他学区と統合しないことを求める意見書」の提出を求める請願↓継続審査

[即決]井上・たぶち

：否決されなかったため、継続に賛成した

・教育条件整備のための請願↓採択

（文教委員会では一部採択石倉・藤岡
趣旨採択山本）

本会議では[反]公明・坂下・多田・山本
：「民族学校に通う子どもたちの保護者負担軽減」の項を含むため、反対者が出た

・「高等学校等就学支援金の支給に関する検討会議」の報告を尊重するよう政府に求める意見書の提出を求める請願↓継続審査 [即決]井上・大島・たぶち・北山

：全ての外国人高校に就学支援金をとの報告が出たことを受けて、新たな請願を提出した

・5・28日米合意の見直しを求める沖縄県議会及び那覇市議会の意見書の尊重を求める意見書を日本政府に提出することを求める請願↓継続審査

：文章を練り直したが残念！

・地域児童育成会の待機児童解消、時間延長および育成料等に関する請願↓継続審査

：待機児童緊急枠設置・19時までの時間延長・3／31開会・会費据え置きを求める内容は問題ないが、市や職員との議論が充分でないため継続に賛成した

賛成した

・宝塚市立西図書館に指定管理者制度を導入するという提言に対する陳情↓採択 [反]近石

：行財政改革推進委員会提言に反対し、かつ図書館サービスの充実を求めるもの

3 議会改革特別委員会

私たち第一部会では、精力的に議論を重ね、議会基本条例の素案（叩き台）を理事会に提出し、その後全体会でも議論して「素案」として了承されました。

内容は、宝塚市議会の特徴としての「情報公開」「議員同士の討議」「議会改革」を更に活発なものとし、「市長の反問権」や「付属機関の設置」「議会報告会」などを新たに加えました。

新年には、皆さんの意見の公募と集会を開催します。是非ご参加ください。（詳細は、議会報かけはし12月号・新年号を。）

今、大詰めです!!
ぜひ、ご意見を
ください。





さいと いきいき彩人

宝塚でいきいきと活動する人を紹介する「いきいき彩人」。
前回の「食品公害を追求めら放し安全な食べ物を求めらる会」金山次代さんから紹介のいたした信長たか子さんです。

隣の国の言葉から

会があった時は、韓国から参加した一人で、私たちはつたない韓国語と日本語で意気投合したのである。以後、機会あることに連絡をとりあつてきた。そして今年の5月には彼女の結婚式に参列した。伝統的な結婚式は感激的であつた。また多くの人たちにとても親しくしてもらい、このとき私は韓国語を勉強してきて本当によかつたと思った。

40年ちかく前に、ある在日韓国人の不当な強制送還の反対運動を通して在日という立場の人々が受ける多くの差別を身近に知った。そんな中で隣の朝鮮半島についてもっと知りたいと思つていたとこ

清荒神在住 信長たか子 さん

ろ、75年に六甲にある神戸学生青年センターで朝鮮語講座が開かれ参加した。当時はよく知人から「何で韓国語？フランス語とか英語をすればよいのに」といわれたが、近頃は「韓国語？うらやましい」となる。ヨン様のおかげで隣の国への関心が高まつたためでもある。今日本にいる在日コリアンの人たちの大切な国、大昔から厳然と培ってきた歴史や言葉や文化を持つ国、私たちが少しでもそれらに触れることによって人々とのつながりもまた大切なものになると思う。私は今彼女からの「ウリ、イルボネ、カルケヨ」「私たち、日本に行くからね」という知



早苗田の会

選 杉山鮎水

九月

(特選) 親潮や吾が心臓も渦巻けり

◇ 稲の穂の垂れて田圃の匂ひける

◇ 端正に尾を巻く犬や松手入

十月

(特選) 千の手に秋の実りも持ち給ふ

◇ 十五夜の航路つきそう星のあり

◇ 本犀に歩みゆるめる通り人

十一月

(特選) 銅雲に茜さしたり芙蓉用づ

◇ 猪垣や更けてきこゆる沢の音

◇ 珈琲のミルク渦なす黄落期

綾子
峯子
草徑

綾子
朝子
恵之輔

信義
朝子
峰子



ベルリン映画祭で銀熊賞を受賞した「キヤタピラー」(芋虫の意)上映と若松監督トークショーがあつた。芸術性は？だが、監督や出演者の気迫、国の戦争責任と加害性へのメッセー

被爆アオギリ二世
記念植樹式で
広島市市長と



宝塚映画祭のオープニングだったので、人の賑わいが嬉しい／この日は雨の中、広島市市長を迎えヒロシマ復興のシンボルとなつた「被爆アオギリ」二世の植樹もあつた／午後からはベトナムの枯葉剤被害者支援コンサート。民族舞踊と歌。片手でのギター演奏が見事だ。戦争被害者は圧倒的に市民、特に子ども。子どもは成長すれば立派な兵士になるからだ／戦没者追悼式で、今年も西山ハニーコールの美しいハーモニーを聞かせていただく。「ふるさと」の合唱途中アカペラで「如何に居ます父母」の部分で遺族の方も歌つておられた。白髪で丸まつた背中を見て、涙がこみ上げる／社会福祉大会、今年のテーマは「無援社会」。年間無縁死3万2千人、12年連続自死3万人超えの社会なんて、おかしい。無縁で生きる人が共通して口にするのは「人に迷惑をかけたくない」。このコトバ、子育て世代の人たちからもよく聞く。子どもは、親や他人に迷惑をかけないと生きていけないし育たない。でも親としては、思い切れないのがホンネ。そんな親を見守ってくれる人が、一人でも居ることが、無援社会で大きな意味を持つ

